

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
	教 育	授業科目の担当状況【学部】(全学教育科目含む)	0.5	<p>【5:特に優れている】 大学院教育強化推進センターとして定めた昨年度と同数の科目数の講義に加え、新たな科目を2科目開設し、担当している。 大学院センターから依頼を受けた科目数(採用時に依頼された科目数)の講義に加え、教員が独自に別途2科目開設し、担当している。</p> <p>【4:水準を上回っている】 大学院教育強化推進センターとして定めた昨年度と同数の科目数の講義に加え、新たな科目を1科目開設し、担当している。 大学院センターから依頼を受けた科目数(採用時に依頼された科目数)の講義に加え、教員が独自に別途1科目開設し、担当している。</p> <p>【3:水準に達している】 大学院センターから依頼を受けた科目数(採用時に依頼された科目数)の講義を担当している。</p> <p>【2:改善の余地がある】 担当している講義の科目数が、大学院センターから依頼を受けた科目数(採用時に依頼された科目数)に達していない。</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 大学院センターから依頼を受けた科目(採用時に依頼された科目)を開講していない。</p>
		授業科目の担当状況【大学院】 ※本評価項目に関して、現段階では担当実績がないためウエイトを0としているが、今後担当する場合には、ウエイトを0.5とした上で右記の基準で評価を実施する方針である。	0.0	<p>【5:特に優れている】 大学院教育強化推進センターとして定めた昨年度と同数の科目数の講義に加え、新たな科目を2科目開設し、担当している。 大学院センターから依頼を受けた科目数(採用時に依頼された科目数)の講義に加え、教員が独自に別途2科目開設し、担当している。</p> <p>【4:水準を上回っている】 大学院教育強化推進センターとして定めた昨年度と同数の科目数の講義に加え、新たな科目を1科目開設し、担当している。 大学院センターから依頼を受けた科目数(採用時に依頼された科目数)の講義に加え、教員が独自に別途1科目開設し、担当している。</p> <p>【3:水準に達している】 大学院センターから依頼を受けた科目数(採用時に依頼された科目数)の講義を担当している。</p> <p>【2:改善の余地がある】 担当している講義の科目数が、大学院センターから依頼を受けた科目数(採用時に依頼された科目数)に達していない。</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 大学院センターから依頼を受けた科目(採用時に依頼された科目)を開講していない。</p>
		卒業研究指導状況	0.0	<p>【5:特に優れている】 指導することがあれば、その他の教育活動の特記事項として評価する。</p> <p>【4:水準を上回っている】</p> <p>【3:水準に達している】</p> <p>【2:改善の余地がある】</p> <p>【1:問題があり改善を要する】</p>
		博士課程前期研究指導状況	0.0	<p>【5:特に優れている】 指導することがあれば、その他の教育活動の特記事項として評価する。</p> <p>【4:水準を上回っている】</p> <p>【3:水準に達している】</p> <p>【2:改善の余地がある】</p> <p>【1:問題があり改善を要する】</p>

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
	教 育	博士課程後期研究指導状況	0.0	【5:特に優れている】
				指導することがあれば、その他の教育活動の特記事項として評価する。
				【4:水準を上回っている】
				【3:水準に達している】
				【2:改善の余地がある】
				【1:問題があり改善を要する】
		留学生の受入状況	0.0	【5:特に優れている】
				指導することがあれば、その他の教育活動の特記事項として評価する。
				【4:水準を上回っている】
				【3:水準に達している】
				【2:改善の余地がある】
				【1:問題があり改善を要する】
		教育方法の改善に関する取組状況	1.0	【5:特に優れている】
				教員自身が担当した科目に特に優れた教育改善が認められる。大学院センター業務としての全学的な教育改善の取り組みは、その他の教育活動として評価する。
				【4:水準を上回っている】
				教員自身が担当した科目に優れた教育改善が認められる。
【3:水準に達している】				
教員自身が担当した科目に対して①授業アンケートを行い、②自己点検票を提出し、③それに基づいた授業改善を行っている。				
【2:改善の余地がある】				
教員自身が担当した科目に対して上の①～③に関する手順のいずれかが実施されていない。				
【1:問題があり改善を要する】				
教員自身が担当した科目に対する授業改善の取り組みが全く行われていない。				
その他の教育活動	0.5	【5:特に優れている】		
		上記の評価項目にない項目(ウエイト0の項目を含む)についての主に教員が独自に実施した教育活動、および、大学院センターの活動としての本学の授業全般に普及させるべき教育改善に対して、評価年度内に多くの顕著な業績がある。		
		【4:水準を上回っている】		
		上記の評価項目にない項目(ウエイト0の項目を含む)についての主に教員が独自に実施した教育活動、および、大学院センターの活動としての本学の授業全般に普及させるべき教育改善に対して、評価年度内に複数の業績がある。		
		【3:水準に達している】		
		上記の評価項目にない項目(ウエイト0の項目を含む)についての主に教員が独自に実施した教育活動、および、大学院センターの活動としての本学の授業全般に普及させるべき教育改善に対して、評価年度内に1件の業績がある。		
【2:改善の余地がある】				
上記の評価項目にない項目(ウエイト0の項目を含む)についての主に個人として実施した教育活動、および、大学院センターの活動としての本学の授業全般に普及させるべき教育改善に対して、3年以内に何らかの業績がある。				
【1:問題があり改善を要する】				
上記の評価項目にない項目(ウエイト0の項目を含む)についての主に教員が独自に実施した教育活動、および、大学院センターの活動としての本学の授業全般に普及させるべき教育改善に対して、3年以内に全く業績がない。				

【部局名:大学院教育強化推進センター】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
	研究	学術雑誌等の論文公表の状況	0.5	<p>【5:特に優れている】 大学院センターとしての業務に関連して、過去3年間に査読付き学術雑誌(紀要等を含む)等に3報以上の論文(事例報告、研究ノート等を含む)を発表している。 なお、大学院センターとしての業務以外の査読付き論文発表は、その他の研究活動として評価する。</p> <p>【4:水準を上回っている】 大学院センターとしての業務に関連して、過去3年間に査読付き学術雑誌(紀要等を含む)等に2報の論文(事例報告、研究ノート等を含む)を発表している。</p> <p>【3:水準に達している】 大学院センターとしての業務に関連して、過去3年間に査読付き学術雑誌(紀要等を含む)等に1報の論文(事例報告、研究ノート等を含む)を発表している。</p> <p>【2:改善の余地がある】 大学院センターとしての業務に関連して、過去3年間にはないが、過去5年間に査読付き学術雑誌(紀要等を含む)等に1報以上の論文(事例報告、研究ノート等を含む)を発表している。</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 大学院センターとしての業務に関連して、過去5年間に査読付き学術雑誌(紀要等を含む)等に論文(事例報告、研究ノート等を含む)を発表実績がない。</p>
		学術専門書等の執筆、編集の状況	0.1	<p>【5:特に優れている】 大学院センターとしての業務に関連して、過去3年間に学術専門書等を単著あるいは共著により3冊以上公刊している。 なお、大学院センターとしての業務以外の学術専門書等の公刊は、その他の研究活動として評価する。</p> <p>【4:水準を上回っている】 大学院センターとしての業務に関連して、過去3年間に学術専門書等を単著あるいは共著により2冊公刊している。</p> <p>【3:水準に達している】 大学院センターとしての業務に関連して、過去3年間に学術専門書等を単著あるいは共著により1冊公刊している。</p> <p>【2:改善の余地がある】 大学院センターとしての業務に関連して、過去3年間にはないが、過去5年間に学術専門書等を単著あるいは共著により1冊以上公刊している。</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 大学院センターとしての業務に関連して、過去5年間に学術専門書等を単著あるいは共著による公刊がない。</p>
		解説、総説等の公表状況	0.1	<p>【5:特に優れている】 大学院センターとしての業務に関連して、過去3年間に査読のない雑誌、webサイト(SNSは除く)等に解説、総説、記事等を3報以上発表している。 なお、大学院センターとしての業務以外の査読のない雑誌、webサイトへの解説、総説、記事等の掲載は、その他の研究活動として評価する。</p> <p>【4:水準を上回っている】 大学院センターとしての業務に関連して、過去3年間に査読のない雑誌、webサイト(SNSは除く)等に解説、総説、記事等を2報発表している。</p> <p>【3:水準に達している】 大学院センターとしての業務に関連して、過去3年間に査読のない雑誌、webサイト(SNSは除く)等に解説、総説、記事等を1報発表している。</p> <p>【2:改善の余地がある】 大学院センターとしての業務に関連して、過去3年間にはないが、過去5年間に査読のない雑誌、webサイト(SNSは除く)等に解説、総説、記事等を1報以上発表している。</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 大学院センターとしての業務に関連して、過去5年間に査読のない雑誌、webサイト(SNSは除く)等に解説、総説、記事等を発表していない。</p>

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
	研究	建築、芸術、演奏、体育系分野等の活動状況	0.0	【5:特に優れている】
				該当する場合はその他の研究活動で評価する。
				【4:水準を上回っている】
				【3:水準に達している】
				【2:改善の余地がある】
				【1:問題があり改善を要する】
		特許出願状況	0.0	【5:特に優れている】
				該当する場合はその他の研究活動で評価する。
				【4:水準を上回っている】
				【3:水準に達している】
				【2:改善の余地がある】
				【1:問題があり改善を要する】
学術賞等の受賞の状況	0.0	【5:特に優れている】		
		該当する場合はその他の研究活動で評価する。		
		【4:水準を上回っている】		
		【3:水準に達している】		
		【2:改善の余地がある】		
		【1:問題があり改善を要する】		
学会発表、講演等の状況	1.0	【5:特に優れている】		
		大学院センターとしての業務に関連して、学会・研究会等での発表、講演等を、評価年度内において5件以上行っている。なお、大学院センターとしての業務以外の学会・研究会等での発表、講演等は、その他の研究活動として評価する。		
		【4:水準を上回っている】		
		大学院センターとしての業務に関連して、学会・研究会等での発表、講演等を、評価年度内において3件以上行っている。		
		【3:水準に達している】		
		大学院センターとしての業務に関連して、学会・研究会等での発表、講演等を、評価年度内において1件以上行っている。		
		【2:改善の余地がある】		
		大学院センターとしての業務に関連して、評価年度内において学会・研究会等での発表、講演等の実績がない。ただし、過去3年に内には1件以上あり。		
【1:問題があり改善を要する】				
大学院センターとしての業務に関連して、過去3年間に学会・研究会等での発表、講演等の実績がない。				

大学院教育強化推進センター

【部局名:大学院教育強化推進センター】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
	研究	学術調査、研究報告等の活動状況	0.0	<p>【5:特に優れている】 大学院センター業務としての学術調査、研究報告は除外する(「管理運営」分野で評価する)。 該当する場合は、その他の研究活動で評価する。 【4:水準を上回っている】</p> <p>【3:水準に達している】</p> <p>【2:改善の余地がある】</p> <p>【1:問題があり改善を要する】</p>
		科学研究費の申請、獲得状況	0.1	<p>【5:特に優れている】 大学院センターとしての業務に関連した研究テーマで、代表または分担者として現在科学研究費を獲得している(継続中を含む)。 大学院センターとしての業務に関連のないテーマで、代表または分担者としての科研費獲得は、その他の研究活動で評価する。 【4:水準を上回っている】</p> <p>大学院センターとしての業務に関連した研究テーマで、過去3年間に代表または分担者として科学研究費を獲得した実績がある(継続中を含む)。 【3:水準に達している】 代表または分担者として科学研究費の申請を行っている。なお、申請のテーマは大学院センター業務と無関係でもよい。 【2:改善の余地がある】 評価年度に代表または分担者として科学研究費の申請を行っていない。ただし、過去3年間には1件以上の申請を行っている。なお、申請のテーマは大学院センター業務と無関係でもよい。 【1:問題があり改善を要する】</p> <p>過去3年間で代表または分担者として科学研究費の申請を行っていない。なお、申請のテーマは大学院センター業務と無関係でもよい。</p>

大学院教育強化推進センター

【部局名:大学院教育強化推進センター】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
	研究	共同研究、受託研究、その他外部資金の獲得状況	0.0	【5:特に優れている】
				該当する場合はその他の研究活動で評価する。
				【4:水準を上回っている】
				【3:水準に達している】
	【2:改善の余地がある】			
	【1:問題があり改善を要する】			
研究	その他の研究活動	0.2	【5:特に優れている】	
			上記の評価項目でウエイトが0としている項目において、特筆すべき実績がある。 なお、大学院センターとしての業務と無関係な研究テーマに関する学術論文、著書、学会発表などについて、評価年度内に顕著な実績が複数ある場合も評価する。	
			【4:水準を上回っている】	
			上記の評価項目でウエイトが0としている項目において、良好な実績がある。 なお、大学院センターとしての業務と無関係な研究テーマに関する学術論文、著書、学会発表などについて、評価年度内に良好な実績がある場合も評価する。	
			【3:水準に達している】	
			上記の評価項目でウエイトが0としている項目において、実績がある。 なお、大学院センターとしての業務と無関係な研究テーマに関する学術論文、著書、学会発表などについて、評価年度内に実績がある場合も評価する。	
【2:改善の余地がある】				
上記の評価項目でウエイトが0としている項目において、評価年度内の実績がない。ただし、過去3年間には実績がある。				
【1:問題があり改善を要する】				
過去3年間で、上記の評価項目でウエイトが0としている項目において、実績がない。				

大学院教育強化推進センター

【部局名:大学院教育強化推進センター】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
	社会貢献	国、地方公共団体での活動状況	0.0	【5:特に優れている】 大学院センター業務として該当する場合はその他の社会貢献活動で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		学会等の学術団体での活動状況	0.0	【5:特に優れている】 大学院センター業務として該当する場合はその他の社会貢献活動で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		公開講座、生涯学習教育に関する活動状況	0.0	【5:特に優れている】 大学院センター業務として該当する場合はその他の社会貢献活動で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
	社会貢献	産学連携活動(技術移転、技術相談等)の状況	0.0	【5:特に優れている】 大学院センター業務として該当する場合はその他の社会貢献活動で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		国際共同研究に関する活動状況	0.0	【5:特に優れている】 大学院センター業務として該当する場合はその他の社会貢献活動で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		海外活動支援の状況	0.0	【5:特に優れている】 大学院センター業務として該当する場合はその他の社会貢献活動で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		地域連携活動の状況	0.0	【5:特に優れている】 大学院センター業務として該当する場合はその他の社会貢献活動で評価する。 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		その他の社会貢献活動	1.0	【5:特に優れている】 上記の評価項目でウエイトが0としている社会貢献活動、または、大学院センターとしての業務と直接関連のない地域連携活動(教育委員会、他大学、学術団体との連携を含む)を含む社会貢献活動を行っており、その内容が特筆すべき顕著な活動であると認められる。 【4:水準を上回っている】 上記の評価項目でウエイトが0としている社会貢献活動、または、大学院センターとしての業務と直接関連のない地域連携活動(教育委員会、他大学、学術団体との連携を含む)を含む社会貢献活動を行っており、その内容が良好な活動であると認められる。 【3:水準に達している】 上記の評価項目でウエイトが0としている社会貢献活動、または、大学院センターとしての業務と直接関連のない地域連携活動(教育委員会、他大学、学術団体との連携を含む)を含む社会貢献活動を行っている。 【2:改善の余地がある】 上記の評価項目でウエイトが0としている社会貢献活動を評価年度内に行っていない。ただし、過去3年間に活動実績が認められる。 【1:問題があり改善を要する】

大学院教育強化推進センター

【部局名:大学院教育強化推進センター】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
				過去3年間で、上記の評価項目でウエイトが0としている社会貢献活動を全く行っていない。

大学院教育強化推進センター

【部局名:大学院教育強化推進センター】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準	
	管理運営	学内の管理運営組織での活動状況	1.0	【5:特に優れている】	
				大学院センターの業務との直接関連する学内の管理運営業務(委員会、WGなど)、および、センターの業務(キャリア形成支援、IR、FDなど)に対する貢献が特に顕著である。	
				【4:水準を上回っている】	
					大学院センターの業務との直接関連する学内の管理運営業務(委員会、WGなど)、および、センターの業務(キャリア形成支援、IR、FDなど)に対する貢献が良好である。
					【3:水準に達している】
					大学院センターの業務との直接関連する学内の管理運営業務(委員会、WGなど)、および、センターの業務(キャリア形成支援、IR、FDなど)を問題なく遂行した。
					【2:改善の余地がある】
					大学院センターの業務との直接関連する学内の管理運営業務(委員会、WGなど)、および、センターの業務(キャリア形成支援、IR、FDなど)に対する活動に問題がある。
					【1:問題があり改善を要する】
	管理運営	入試業務に係わる活動状況	0.0	大学院センターの業務との直接関連する学内の管理運営業務(委員会、WGなど)、および、センターの業務(キャリア形成支援、IR、FDなど)に対する活動に重大な問題がある、または、活動を行っていない。	
【5:特に優れている】					
該当する場合はその他の管理運営活動で評価する。					
				【4:水準を上回っている】	
				【3:水準に達している】	
				【2:改善の余地がある】	
				【1:問題があり改善を要する】	
	管理運営	入学・進学志願者増加に係わる活動状況	0.0	【5:特に優れている】	
該当する場合はその他の管理運営活動で評価する。					
【4:水準を上回っている】					
				【3:水準に達している】	
				【2:改善の余地がある】	
				【1:問題があり改善を要する】	

大学院教育強化推進センター

【部局名:大学院教育強化推進センター】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
	管理運営	就職支援、課外活動支援に係わる活動状況	0.0	<p>【5:特に優れている】 該当する場合はその他の管理運営活動で評価する。</p> <p>【4:水準を上回っている】</p> <p>【3:水準に達している】</p> <p>【2:改善の余地がある】</p> <p>【1:問題があり改善を要する】</p>
		その他の管理運営業務	0.2	<p>【5:特に優れている】 上記の評価項目でウエイトが0としている管理運営業務、または、大学院センターとしての業務と直接関連のない本学の管理運営業務についての貢献が特に顕著である。</p> <p>【4:水準を上回っている】 上記の評価項目でウエイトが0としている管理運営業務、または、大学院センターとしての業務と直接関連のない本学の管理運営業務についての貢献が良好である。</p> <p>【3:水準に達している】 上記の評価項目でウエイトが0としている管理運営業務、または、大学院センターとしての業務と直接関連のない本学の管理運営業務について、活動実績がある。</p> <p>【2:改善の余地がある】 上記の評価項目でウエイトが0としている管理運営業務、または、大学院センターとしての業務と直接関連のない本学の管理運営業務について、評価年度内の活動実績がない。ただし、過去3年間には実績がある。</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 上記の評価項目でウエイトが0としている管理運営業務、または、大学院センターとしての業務と直接関連のない本学の管理運営業務について重大な問題がある、または、過去3年間にわたり前述の業務を全く行っていない。</p>

※評価項目は全学業績評価委員会の承認を得れば追加できます。追加を希望する場合は朱書きで評価項目を記載し、全学業績評価委員会に提出ください。